

# 小屋作りプロジェクト最終報告書

ミッション リーダー 鎌野 帆  
メンバー 境田 瑛之 太田 悠一郎  
繁下 美和子

## 1.プロジェクト設立の経緯

自分たちの力で小屋を立ててみたいという意思を持った者が集まり企画を探していました。その時メンバーの一人が小学校の頃の恩師と連絡を取り始めたことをきっかけに、小学校（河内長野市立天野市立小学校）の農作業場近くに農具倉庫を建ててほしい、という話をいただきました。今ある倉庫は畑から遠く肥料などは畑近くに野晒しでおいている現状を聞き、畑近くにある方が小学生や先生方の作業効率があがることや、農作業場の近くは場所も空いているので、農具や肥料の保管場所することで空いたスペースの有効活用にもなると判断し、このプロジェクトを設立することにしました。

その後、幼稚園（泉佐野市立のぞみ幼稚園）の方からも、今ある園児たちの遊び小屋が老朽化してきたため小屋を建て替えて欲しい、との要望があったので、こちらは農具倉庫に比べ規模が小さい、ということで木材加工の実践練習も兼ねて取り組むことにしました。

## 2.プロジェクトの目標と目的

このプロジェクトの目標としては、小屋を立てることですが、最終的な目的としては、小屋作りを通して材料の調達から製作までの流れを学び、計画性や行動力を養うことを目的としています。

## 3.昨年度から現在までの活動内容

### ・幼稚園の遊び小屋

昨年度、幼稚園側（泉佐野市）から予算を出していただけるということだったので主にこちらの活動をしていました。

元々、老朽化した小屋を立て替えてほしいという話であったため、元ある小屋とあまり変わりのないデザインの小屋にしようと考え、また幼稚園の先生方の意見も参考にデザインを決定しました。メンバー全員が初めての木材加工ということで不安もありましたが、無事に小屋をかんせいさせることが出来ました。



完成した遊び小屋



加工後の木材等

・小学校の農具倉庫

プロジェクト発足当初、担当教員に「とりあえず、どのような形でもいいので模型を作ってみてはどうか」と言われ、一番初めに校倉作りの小屋の模型（図1）を作ってみました。（模型作成には、模型用木材を使用しています。）しかし、作ってみたものの、このような小屋を作るとなると、予算が高くなる上、技術的にも非常に難しく実際に校倉作りの小屋を作るのは厳しいと判断されました。



図1 校倉作りの模型



図2 木造の基本構造

その後、担当教員から授業で使用したりもする木造建築物の基本構造を学ぶための模型（図2）を使って、基本的な構造を学びました。

その後、もう一度小屋の構造を考え直し、模型を作り直しました。主に小学生が使うとい

うことで安全面はもちろんのこと、金銭面や耐久性、技術的なことを考慮し何度も作り直した結果、最終的な構造も決まり実際同様の模型（図3）も作り上げられました。（小屋の模型は実際に建てるものの1/20の大きさで作成しました。）

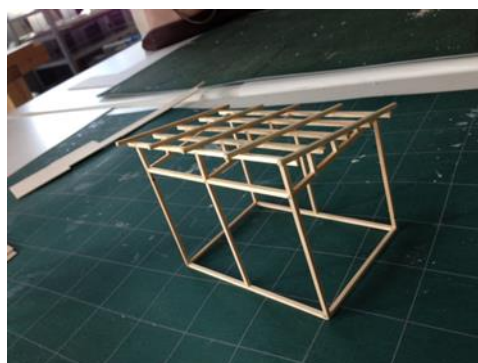


図3

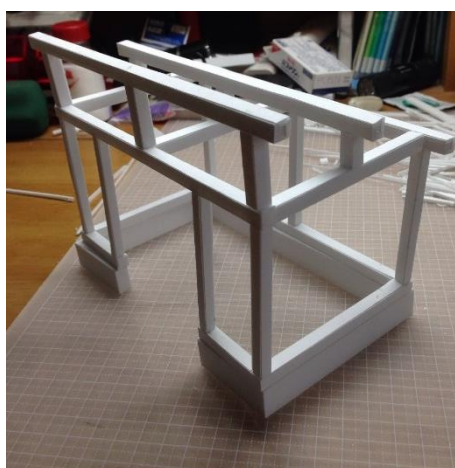


図4 本模型

今年度に入り再び、小屋の中に作る棚をどのようなものにするか、安全面を考え出入り口の段差はなくした方がいいか、などといった細かい部分の話し合いを進め最終的な形が決まりました（図4）。

今回、小屋を立てるにあたって市役所に申請書類を提出しなければならなかったのですが、6月26日にクリエからの予算が発表され、その後、製作する小屋の最終案を決定しました。夏休み期間中に小学校側と最終の話し合いをした後、市役所に提出する書類を作成し提出しました。しかし、書類訂正等で受理されたのは11月半ばとなってしまいました。この申請書が下りるまで待っていたので、材料の発注が遅くなってしまいました。また、見積もりしてもらった結果、予算を超えてしまったので、再度見積もりをしてもらったため、一月末に最終見積書をもらい、その後発注してもらいました。4mもの木材の置き場や作業場所などを確保するのが大変でしたが、小学校側との話し合いの結果置かせていただけるということになり、現在物品の一部を置かせていただいています（図5）。まだすべての木材の加工は終わっておらず現在も引き続き作業を進めているところなので、報告会のときに、最新の報告をさせていただきたいと思っています。



図5 物品

#### 4. 活動を通しての反省点や学んだ点

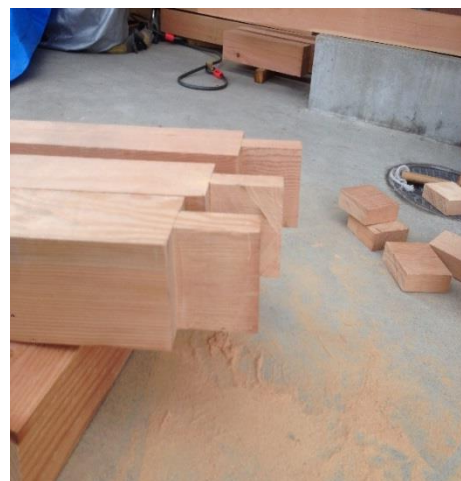
プロジェクトを設立した当時、一回生のみで右も左もわからない状態で立てたずさんな計画で臨んだ結果、予算10000円からのスタートとなってしまいました。その後も、設立当初は計画性も全くなく、小屋を建てよう、という漠然とした目標はあったものの具体的には話が進まず、集まっても「どうしよう」と言い合うだけで、何から手を付けたらいいのかわからず、ただ時間が過ぎていくだけの日々を過ごしてしまいました。しかし、担当教員の助言により模型作ることから始まり、小屋を建てるにあたっての段階的な計画を立てることができ、何とか前に進むことができました。昨年度は予算不足なこともあり、十分な成果を出すことは出来ていませんでしたが、計画をきちんと立てることの重要性を学ぶことが出来ました。

そして、今年度は昨年度の反省を活かし、より詳細な計画をたて、またそれを滞りなく進めていくためや情報共有をしっかりと行うため、月一のミーティングに加え、計画が進む度に随時ミーティングを行うようにしました。小学校側に提出する書類をもう少し早く出来ていれば、もう少し早くに発注・加工ができたのでは、という反省点はありますが、全体的に計画に沿って活動を進められたと思います。また、今年度の活動では、自分たちで見積もりをしてもらって発注・納品にいたるまでにかかわることができ、本プロジェクトの目的を達成することが出来、またよい経験が出来たと思います。

#### 5. 今後の予定(2015/3/5 現在)

残念ながら、まだすべての木材の加工が終わっておらず、引き続き作業している状態です。

小学校側の都合で 26 日以降なら生徒がいないので一日作業してもかまわない、ということなので、それまでに加工を終わらせ三月末に現地で組み立てていきたいと思っています。



加工中の木材